



みはらし



Tokorozawa
Mihara
General
Hospital

Contents

- 2-3 ● 院内設備の紹介「ダヴィンチについて」
- 4 ● 救急症例検討会の報告
- 5 ● 日本脳卒中学会一次脳卒中センター認定のお知らせ
- 6 ● リハビリ夜勤の取り組みについて
- 7 ● 病院ロゴマークの由来

院内設備の紹介

■ 手術支援ロボット(ダヴィンチ)を特集

当院では、2024年3月にダヴィンチ(Da Vinci Xi サージカルシステム)が納入され、医師・看護師・臨床工学技士からなるチームを結成して準備を重ね、同年6月からロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を開始しました。

ダヴィンチは米国で開発された手術用ロボットです。複数のロボットアームを遠隔で操作し、身体的負担の少ない腹腔鏡(内視鏡)手術を行います。ロボットアームに取り付ける鉗子は人間の手よりも可動範囲が広く、ハイビジョン3D画像を活用して、繊細で正確な手術が可能となります。



ダヴィンチで手術を行うメリット

正確な患部の切除と機能温存の向上

拡大視野で精密な切除が可能であるため、腫瘍のより正確な切除が可能となります。

また、ロボットアームの正確で精密な動きによって体の機能を温存させる手術が期待できます。

前立腺全摘除術では、開腹手術に比べて尿失禁や勃起機能の回復が早くなることが報告されています。

腎部分切除術では、腫瘍を正確に切除できるため、腎機能に対するダメージが小さくなる可能性が報告されています。

術中の出血が少ない

ロボットによる精密な操作により、開腹手術と比較して術中の出血が少なく済みます。前立腺全摘除術は比較的血の多い手術でしたが、ロボット支援手術の導入により術中に輸血が行われた例はほとんどありません。

傷口が小さいので、術後の疼痛が少なく、回復も早い

腹腔鏡(内視鏡)手術なので、内視鏡や鉗子を挿入するための5-12mmの傷で手術を行います(疾患によっては摘出臓器を取り出すために傷を延長する必要があります)。開腹手術と比較して傷口が小さいため痛みは少なく、体への負担も少ないことから術後の回復は早い傾向にあり、入院期間の短縮が期待できます。創部の感染が少なく、腸閉塞などの合併症発生率も低い傾向にあります。



救急症例検討会の報告

所沢美原総合病院では、
近隣消防局の救急隊向けに
救急症例検討会を開催しております。

第1回目は令和6年4月18日に循環器内科と心臓血管外科、第2回目は同年7月24日に脳神経外科と消化器内科の医師より、それぞれ症例報告を通して当院で治療可能な疾患の報告を行いました。また、他科も含めて当院で対応可能、対応不可能な症例について説明を行い、救急隊の方々も一番気になっていた内容を聞くことができ、とても納得されたようでした。



▲ 病院長による病院紹介



▲ 脳神経外科医師による症例報告



▲ 救急隊代表者による挨拶

その後の意見交換会では、参加された救急隊の方々と同院医師、多職種のスタッフとの中で活発な意見交換の様子がみられ、親睦も十分に深められたように感じます。

今後も「24時間365日 断らない救急医療」をモットーに、院内連携のみならず、院外の救急隊も含めた多職種連携に精一杯取り組んでいきたいと思っております。



▲ 救急症例検討会集合写真

日本脳卒中学会一次脳卒中センター 認定のお知らせ

● 地域に根ざした医療を目指して

昨年11月、ここ所沢市美原地区に新たな総合病院として開院し、早くも1年が経とうとしています。開院直後の慌ただしさの中、地域の皆様にはご迷惑をおかけすることもあったかと思いますが、地域医療に貢献すべく、着実に歩みを進めてまいりました。

● 高度な専門医療を提供する脳神経外科

脳神経外科では、豊富な経験を持つ脳神経外科専門医3名が日々診療にあたっています。当科には、開頭術や血管内治療に精通したエキスパートが揃っており、患者さま一人ひとりに最適な治療プランを提案いたします。

● 日本脳卒中学会認定一次脳卒中センターに認定

一次脳卒中センターとは、日本脳卒中学会が24時間365日脳卒中治療（外科的対応やrt-PA及び脳血栓回収療法等）を行える施設を一般市民や医療従事者に分かるよう選定基準を設け、認定・公表したものです。

当科では、幅広い脳神経疾患に対応していますが、特に脳卒中治療に力を入れています。常勤の医師全員が脳卒中専門医の資格を持ち、脳卒中治療に必要な高度な技術と知識を備えています。この実績を評価され、当院は新設病院としては異例の速さで日本脳卒中学会認定一次脳卒中センターに認定されました。

地域の救急医療を担う病院としての責任を強く感じ、今後もすべての脳卒中疾患に対応し、必要な治療を必要な患者さまに届けるため、引き続き努力してまいります。



所沢美原総合病院の脳神経外科チーム

リハビリ夜勤の 取り組み

■ リハビリ夜勤のスケジュール (一部抜粋)

16:30~	夜勤業務開始、 夜勤に向けた情報収集
17:00~	夜勤帯へ向けたカンファレンス 夜勤中は、随時Nsコール対応、 病棟ラウンドを実施
18:00~	ポジショニング・夕食離床・食事・ 整容動作介入
20:00~	トイレ誘導・ポジショニング・ おむつ交換時の補助
23:00~	病棟カンファレンス ポジショニング・体位変換・ おむつ交換時の補助
翌5:00~	トイレ誘導・ポジショニング・ おむつ交換時の補助
7:30~	ポジショニング・朝食離床・食事・ 整容動作介入
8:40~	日勤帯へ申し送り
9:00	夜勤業務終了

所沢美原総合病院では開院して間もなく、リハビリテーション科の夜勤業務が始まりました。一般的にリハビリスタッフは朝から夕方の日中にリハビリを行い、夜間帯に起こったことは、看護師や看護補助者から情報を聞くという体制の病院が多いようですが、「患者さまの24時間の生活を専門職の様々な視点で見たい」と考え、全国でも珍しい取り組みを始めました。

病棟スタッフと協力し、患者さまに朝も夜もデイルームに離床して食事を摂っていただいたり、その後の整容動作から就寝・起床前後のトイレ動作まで、リハビリテーションの専門家として関わることができ、「患者さまの24時間の生活を見ていくこと」の大切さを実感しています。また病棟をラウンドする中で、患者さまの不安な気持ちに耳を傾けたり、ベッドから転落しそうな場面を発見し対応したりするなど、夜勤業務には様々な意義があると感じています。

また、夜勤帯で発生したことについて、病棟スタッフと23時頃にカンファレンスを行い、今後の日常生活動作にどのように関わっていくか話し合った上、翌日の日勤帯へ申し送りを行っています。

今後も所沢美原総合病院に入院された患者さまが、より良い状態で地域へ退院していただくことができるように、スタッフ一人ひとりができることをしっかりと考え、全力で取り組んでいこうと思います。



夜勤帯に向けたカンファレンス



リハビリでの夕食介入



デイルームでの朝食の風景

所沢美原総合病院 ロゴの由来



TMGHの基本理念と基本方針

志は高く、敷居は低く、懇切丁寧に
断らない救命救急医療



考案者：院長 鈴木 昭一郎

志は高く

蛇(医療のシンボル)が
高みを目指す様子。
Tは所沢&高みのTであり、
杖でもある。

敷居は低く

地域の方々に親しみやすい
シンプルなフォント・
フォルムで分け隔てなく
誰でも受け入れる。

懇切丁寧

ところ
野老(所沢の由来の芋)の
ハート型のツタ葉で
心遣いの輪が広がる
イメージ。

ホームページのご案内

病院の内容は、ホームページでご覧いただけます。
ぜひご参照くださいませ。
グループ病院へのホームページにもリンクできます。

所沢美原総合病院



<https://tmgh.jp/>



私たちと一緒に働きませんか？

医療スタッフ
募集中

募集職種

- 医師 ● 看護師 ● 介護福祉士 ● 看護補助者 ● 理学療法士 ● 作業療法士
- 言語聴覚士 ● 臨床検査技師 ● 放射線技師 ● 臨床工学技士 ● 薬剤師
- 管理栄養士 ● 救急救命士 ● 社会福祉士 ● 事務職員

詳しくはホームページをご覧ください。

お問合せ

TEL: 04-2997-8199 (代表) 総務課採用担当まで



所沢美原総合病院 広報誌

Vol.3

みはらし

令和6年10月発行



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会

所沢美原総合病院

〒359-0045 埼玉県所沢市美原町2丁目2934-3

<https://tmgh.jp/>

TEL 04-2997-8199

FAX 04-2997-8196



電車ご利用の場合 西武新宿線「新所沢駅」東口下車 徒歩8分

バスご利用の場合 新所沢駅東口 西武バス乗車
「所沢市民体育館」バス停下車 目の前

タクシーご利用の場合 西武新宿線「新所沢駅」東口より約5分